

平成 24 年 5 月 22 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 酒井睦夫 様

議会報告会	1 班
班長 青野	直
植田	和子
中村	彰男
西川	誠之
松尾	澄子
松田	浩三
松野	豊

私の班は議会報告会を開催し、その概要は次のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成 24 年 5 月 20 日（日）
午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分
- 2 場所 東部公民館
- 3 欠席議員 無し
- 4 参加者数 74 人
- 5 報告内容
[前半] 共通テーマ
平成 24 年度予算報告
[後半] 各班独自テーマ
地域課題について（東部地区の除染状況）

6 意見交換内容

まず冒頭、5月19日に発生した利根川水系の埼玉、千葉両県の浄水場から国の水質基準値を上回る化学物質ホルムアルデヒドが検出された問題で、北千葉浄水場が取水停止し断水となったが、出席されている議員の皆様は当日それぞれどのような行動をなされたか伺いたい。

東部地区は北千葉浄水場から水を受水する前は東部浄水場で井戸を汲んで今より安く水道を供給してもらっていた。今回なぜ復旧が遅れたのはなぜか。

独居高齢者のごみだし支援事業に関連して安否確認をどのように連携して取り組むのか。

水の配給は車で取りに来てはいけないとあった。柔軟な対応をもって受ける側の状況も考えて行って欲しい。

数時間の断水であったが、中間的な情報提供があったらパニックにならない。どう考えるか。

井戸を掘っていることを市に連絡している。なぜ生かされないのか。停電になったときには自治会では発電機を持っている。井戸につなげば停電でも水を出せる。このような態勢を生かすように市は考えるべきではないか。水を配るシステムも自治会という組織を活用すべきでは。

東部地区、じゃんけん橋の拡幅や、その先たけのこルーム、福祉会館あたりの拡幅される状況の見通しについてはどうなのか。

放射能について過年度の東京電力の賠償金の支払いについての見通しは。14億2600万のうち東電と国の負担の見込みはどうか。

高額な予算を計上して除染を行うが、取り組むにあたっての具体的な数値があるのかどうか。

除染について、昨年提案をしている。民有地については、一定の区域で測定してエリアごとに安全宣言をするほうが風評被害を防げるのではないかな。

木の図書館が新しく出来た。公共施設を回る循環バスが以前はあった。野々下や長崎の人は行きにくい。足の確保を要望したい。

自治基本条例等に基づいて議会報告会があると考えている。そこで市民参加条例が継続審査となっている。市民参加条例あって議会報告会が充実すると考えている。制定の見通しはどうか。

7 参加者から議会への要望

行政についての要望は多く寄せられた。議会については市民参加条例の制定の要望があった。

8 所感

まだ一部の市民に、議員に対し対決姿勢で乗り込んでくる現実を残念に感じるが、おおむね市民との意見交換に冷静に真摯に向き合う風土が出来たと思う。議会報告会での市民との意見交換会は、折りしも昨日発生した水質汚染を受けて断水問題等、行政についての質問に終始した。今後とも議会報告会の本旨は議会との意見交換であるということをPRする必要を感じました。また、冒頭に水道事故の説明や議員の対応・質疑等に時間が費やされたことがあり、全体の進行に影響があったことが少し残念である。